

熊本地震に際してお知らせとお願ひ

2016年4月20日

福岡教区の皆様

福岡教区主管 青木 悟
震災担当 森山信三

今月14日に発生しました熊本大地震はいまだに余震が続き、被災地では厳しい状況が続いています。

18日に、熊本地区長櫻井尚明神父も同行し、現地を視察しました。熊本市内はもとより、特に被害の大きい益城町、その周辺は広範囲にわたって被害が広がり、避難者の数は増え続けています。

被災地の教会では、聖堂の屋根瓦の落下、聖堂内壁外壁の剥脱およびひび、窓ガラス、聖像、祭壇、聖具の破損散乱、司祭館の内壁外壁の剥脱およびひび、家具類の倒壊散乱、敷地の地割れなどの被害が出ています。余震による建物の倒壊や屋根瓦落下の恐れから聖堂に近づけず、ミサが信徒会館で行われているところもあります。数名の司祭は身の安全のため車中で夜を明かす日々が続いており、信徒の皆様の安否確認もままならない状況です。支援物資は、道路の寸断や、度重なる余震もあって、被災者に行き渡らないということが起こっています。

このような状況の中で、今まずわたしたちができるることは、義援金と援助物資を送ることです。義援金の送金先はすでにお知らせしているとおりです。熊本市は下記のような支援物資を求めていますので、教会単位で、ダンボール1個につき1種類の品を送っていただければ幸いです。

ボランティアにつきましては、視察時点では、行政も建物の倒壊の危険、余震のため、その要請に応えることができないでいましたが、本日、熊本市社会福祉協議会が22日よりボランティアを受付けることになったとの情報が入りました。どうぞお問い合わせください。

支援物資

飲料水、アルファー米、カップ麺や缶詰など保存のできる食品、ウェットティッシュ、おしりふき、生理用品、紙おむつ（大人用、子ども用）、トイレットペーパー、粉ミルクなど

送付先

861-8012 熊本市東区平山町2776 「うまかぬ よかなスタジアム」宛

本日「カトリック福岡教区熊本地震被災者支援室」を開設しました。本件に関するお問い合わせはこちにお願いいたします。電話 080-1761-4150

また現在、現地支援ベースの設置に向けて準備中です。

なお、教区として、このような事態に対処するのは初めてですので、対応に不十分なところもあるうかと思います。皆様のご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

いつくしみの主に祈りつつ